

## 第 11 回アジアエージグループ選手権 選考について

### <目的>

ロサンゼルスオリンピック、ブリスベンオリンピックを見据えて、次世代につながる可能性が高い中学生選手の競技力強化及び国際大会経験を主な目的とする

### <選考方法>

1. 選考競技会を第 46 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（TAC・8/22-26）とする
2. 選考は、第 11 回アジアエージグループ選手権競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があり編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って総合的な判断により選考する
3. 参加有資格者は、中学生とする
4. 本大会参加の意思は確認する。辞退を認める  
\*スケジュールの都合上、ジャパンオープン 2023（50m）には出場できない
5. 第 46 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（TAC・8/22-26）において男女別に全年齢区分、個人種目競技結果（予選・B 決勝・決勝・スイムオフ含む）のコンバインドで選考した
6. 下記①～⑥の種目内において、ジュニアエリート記録達成率をもとに最大上位 2 名までの選考とした（男女別）  
①自由形短距離（50m・100m・200m） ②自由形中長距離（400m・800m・1500m）  
③背泳ぎ（100m・200m） ④平泳ぎ（100m・200m）  
⑤バタフライ（100m・200m） ⑥個人メドレー（200m・400m）  
※選手重複による補填は行わない  
※アジアエージグループ選手権において 12-14 歳区分は、800m 自由形・1500m 自由形・400m 個人メドレー・4×200m フリーリレーは行われない
7. 代表コーチは、ジュニアエリート達成率ランキングを用いて、種目別上位者の担当コーチから遠征参加の可否を確認した上で選考した

以上